

# 北九州港港湾計画改訂（案）

平成23年10月

北九州市港湾空港局

## ～ 目 次 ～

I	港湾計画の方針	
	1. 北九州港の課題及び要請	1
	2. 港湾計画の基本方針	2
	3. 基本方針イメージ	4
II	港湾の能力	5
III	港湾計画改訂図（案）	
	1. 新門司地区	6
	2. 太刀浦・田野浦地区	7
	3. 西海岸地区	8
	4. 砂津地区	9
	5. 日明・戸畑地区	10
	6. 黒崎・二島地区	11
	7. 響灘地区	12

## I 港湾計画の方針

### 1. 北九州港の課題及び要請

#### (1) 物流・産業

- ・東アジアと東南アジア・インドとを結ぶアジア基幹航路は、コンテナ輸送量の増加に伴い、コンテナ船の大型化、寄港地の集約化が進んでいます。
- ・東アジア地域では、経済交流連携や国際分業の進展等により、域内貿易が活発化し、国内輸送と同様のスピードを持った輸送が求められ、定時性と多頻度輸送能力があるフェリーRORO船による輸送需要が高まっています。
- ・物流の効率化や低コスト化を目的として、鉄鉱石や石炭等のバルク貨物（バラ積み貨物）運搬船についても世界的に船舶の大型化が進んでいます。
- ・海運利用や広大な工場用地確保の容易さなどから、臨海部への企業進出や新規設備投資が進んでいます。また、産業構造の多様化等により、企業ニーズにあった岸壁や航路等の整備が求められています。

#### (2) 人流・交流

- ・東アジア地区の著しい経済成長を背景に、クルーズ船等を利用して、九州を訪れる外国人観光客も増加していますが、その多くは他港から入国しています。このため、九州や瀬戸内海諸港との連携などにより、このような国際旅客需要やクルーズ需要の増加に対応していく必要があります。  
また、門司港レトロ地区等の観光資源の魅力向上など、交流拠点機能強化に取り組む必要があります。
- ・北九州港は歴史のある港であり、近年の産業構造の転換等によって、未・低利用となった工場・倉庫エリアを商業や定住空間として活用したいとする要請も高まっています。このため、古くなった港の施設やその周辺を憩いや賑わいの場として活用するなど、港と調和したまちづくりを行っていく必要があります。

#### (3) 環境

- ・公害を克服し環境の再生を果たしてきた北九州市では、市民の環境意識が強く、市民の視点に立った環境修復や自然環境保全への取り組みを積極的に行っていくことが求められています。
- ・北九州市は、平成20年7月、「環境モデル都市」に選定されており、低炭素社会の実現に向けて様々な取組を行っています。その中で、北九州港は、船舶の排出ガス削減や港湾荷役における消費エネルギーの削減等、物流に関連するCO<sub>2</sub>排出削減が求められています。
- ・快適な市民生活や企業活動を支えるため、廃棄物及び浚渫土砂の処分場を長期・安定的に確保していくことが求められています。

#### (4) 安全・安心

- ・過去の地震の例からも、港湾が、物資供給基地及び物流拠点としての機能を果たしており、震災の備えとして、災害に耐えうる岸壁や防災拠点となる施設が求められています。
- ・北九州港の既存施設については、利用実態や状況を見極め、計画的な施設の更新・再編と適切かつ効率的な維持管理を進めていくことが求められています。
- ・多くの船舶が通行する関門航路等では、航行船舶隻数の増加や船舶の大型化に伴う航路の水深や幅員不足、港内では、適正に収容されていない小型船の存在が問題となっており、船舶の航行安全のため、航路・泊地などの水域施設や小型船の収容施設の整備が求められています。

## 2. 港湾計画の基本方針

- 1) コンテナ船の大型化が進んでいるアジア基幹航路に対応するため、日本海側や西日本地域など広域からの集荷を行うとともに、既存のコンテナターミナルの利用促進を図ります。  
東アジア地域との国際分業の進展に伴う多頻度定時輸送（近海シャトル輸送）需要に対応するため、国際及び国内フェリー・RORO航路や鉄道が一体となったシームレス物流の実現を図ります。  
これらを有機的に連携させ、アジア輸送における国際拠点港湾を目指します。
- 2) 原材料運搬船等の船舶の大型化に対応するため、航路や泊地等を拡充し、港湾機能の強化を図ります。
- 3) 24時間運用可能な海上空港である北九州空港の特徴を活かし、陸上輸送が困難な特殊貨物等を輸送するシー&エアーの実現を目指します。
- 4) 企業のニーズに対応した魅力的な産業用地を確保します。
- 5) 北九州港の歴史を活かした観光拠点について、さらに魅力ある観光拠点として拡大を図り、観光客の集客に努めます。
- 6) 国際旅客需要やクルーズ需要の増加に対応し、東アジア等の諸都市と北九州港を結ぶ国際フェリーやクルーズ船を受け入れる体制の充実を図ります。
- 7) 市民の多様化する価値観や水辺に対する意識の高まりに対応し、親しめる港湾空間を形成するため、緑地や魅力的な水際線の整備を進めます。

- 8) モーダルシフトの更なる進展に対応するため、国内フェリー・RORO船・鉄道による複合一貫輸送機能の強化を図ります。
- 9) 快適な市民生活や企業の産業活動を支えるため、廃棄物及び浚渫土砂の処分場を確保します。
- 10) 大規模地震が発生した場合において、緊急物資の受入れ及び国際・国内幹線輸送機能を確保するため、耐震強化岸壁の整備を進めます。
- 11) 小型船等の係留施設の不足を解消するため、港内の航行安全性の向上に努めながら、小型船収容施設の充実を図ります。

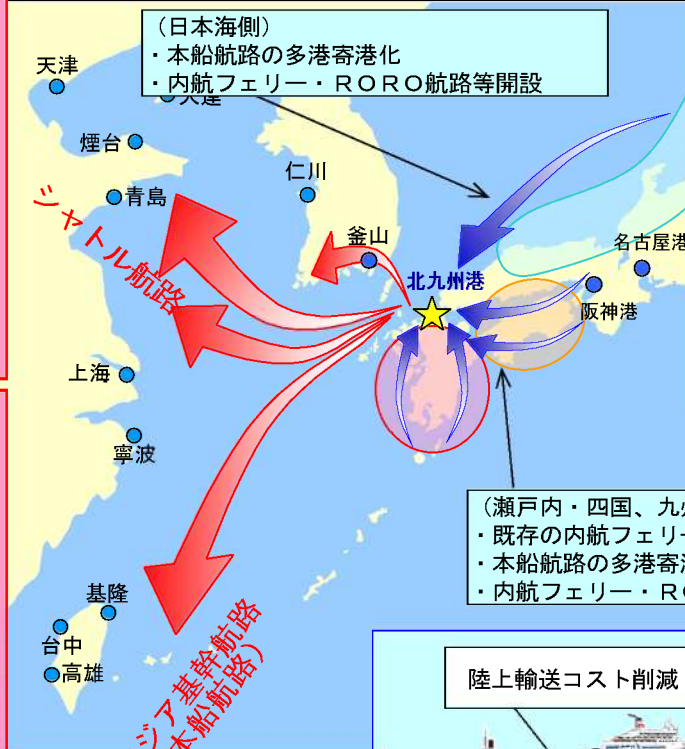
### 3. 基本方針イメージ

## アジア輸送における国際拠点港湾

シャトル航路  
(国際フェリー・RORO)



アジア基幹航路  
(東南アジア、インド等)



内航フェリー・RORO航路



(瀬戸内・四国、九州沿岸)  
・既存の内航フェリーの活用  
・本船航路の多港寄港化  
・内航フェリー・RORO航路等開設



## 地域産業を支えるため、船舶の大型化に対応

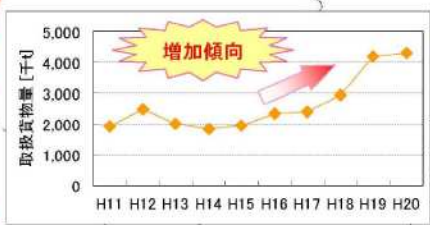
大型原料運搬船の入港状況  
(日本コークス工業)



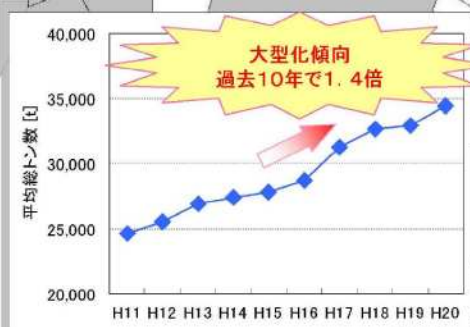
岸壁(-13m) 吉野石膏

岸壁(-17m) 日本コークス工業

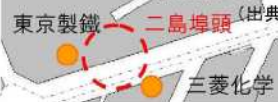
吉野石膏 響灘南埠頭



公共埠頭の取扱貨物量の推移  
※響灘南、日明、堺川、川代の各埠頭の合計値  
(出典:北九州港湾統計)



北九州港入港船舶の平均総トン数の推移  
※貨物が鉄鉱石・石炭である船舶を除く  
(出典:北九州港入港船舶実績)



喫水を調整し北九州港に入港する大型船



## II 港湾の能力

目標年次（平成30年代前半）における北九州港の取扱貨物量、船舶乗降旅客数を以下のように決めました。

取扱貨物量	外 貨 (うちコンテナ)	3,720万トン (1,050万トン [73万TEU])
	内 貨 (うちフェリー)	8,340万トン (4,500万トン)
	合 計	12,060万トン
船舶乗降旅客数		170万人

### Ⅲ 港湾計画改訂図（素案）

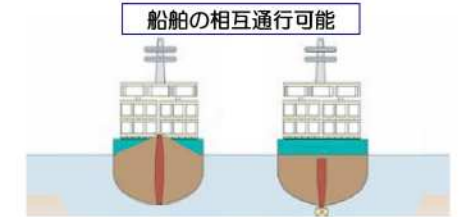
#### 1. 新門司地区

##### ①フェリー・RORO等の複合一貫輸送機能強化



【計画】岸壁(-10m)×1B(新門司北地区)、  
岸壁(-7.5m)×1B(新門司南地区)、  
防波堤260m(100m、100m、60m)

##### ②航路の拡幅・増深による港湾機能の強化

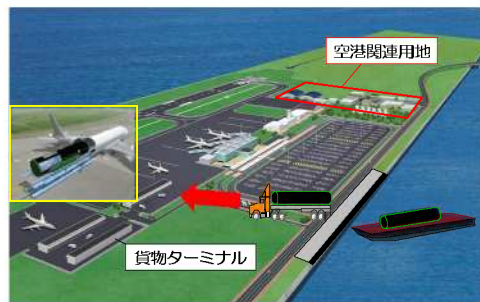


【計画】新門司航路(-10m) 幅員300m⇒400m

##### ②航路の拡幅・増深による港湾機能の強化

##### ③シー&エアーの促進

##### ③シー&エアーの促進



【計画】岸壁(-4.5m)×2B

##### ①フェリー・RORO等の複合一貫輸送機能強化



## 2. 太刀浦・田野浦地区



### 3. 西海岸地区



①耐震強化岸壁の整備

防災拠点イメージ図

耐震強化岸壁

【計画】岸壁(-11m)×1B (改良)

： 計画削除

②都市の魅力をも高める水際線の整備

緑地 1ha

①耐震強化岸壁の整備

国際旅客需要への対応(既設)

(-11)210m (耐震化)

埋立計画 (埠頭用地) 削除

②都市の魅力をも高める水際線の整備

緑地イメージ図

【計画】(緑地) 門司港レトロ地区 1ha



# 4. 砂津地区

①安全・安心な小型船だまりの整備



【計画】砂津地区

③都市の魅力をも高める水際線の整備

水際線イメージ図



【計画】(緑地) 砂津地区 5ha

住友金属小倉

砂津航路(-10)

①安全・安心な小型船だまりの整備

埋立計画  
(港湾関連用地等)  
削除  
430m

小倉記念病院

シンボル  
ロード

西日本総合  
展示場

AIM

北九州  
国際会議場

砂津泊地

国道199号

小倉駅

 : 計画削除

②都市の魅力をも高める水際線の整備

## 5. 日明・戸畑地区



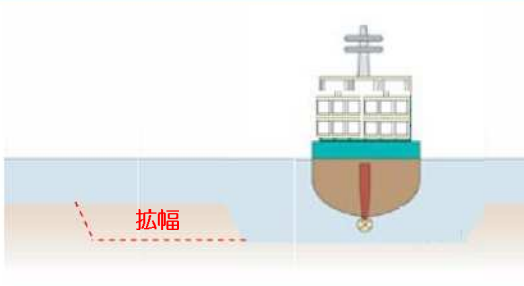
## 6. 黒崎・二島地区

①増大する在来貨物輸送需要への対応



【計画】岸壁(-7.5m)×1B ⇒岸壁(-8.5m)×1B  
泊地(-8.5m) 5ha (二島地区)

②航路の拡幅・増深による港湾機能の強化




【計画】奥洞海航路(-8.5m) 幅員120m⇒150m



③耐震強化岸壁の整備

防災拠点イメージ図



【計画】岸壁(-7.5m)×1B (新規)

# 7. 響灘地区

**①ひびきCTの利用促進と多目的利用の推進**



シヤトル航路  
(国際フェリー・RORO)

多目的船の寄港

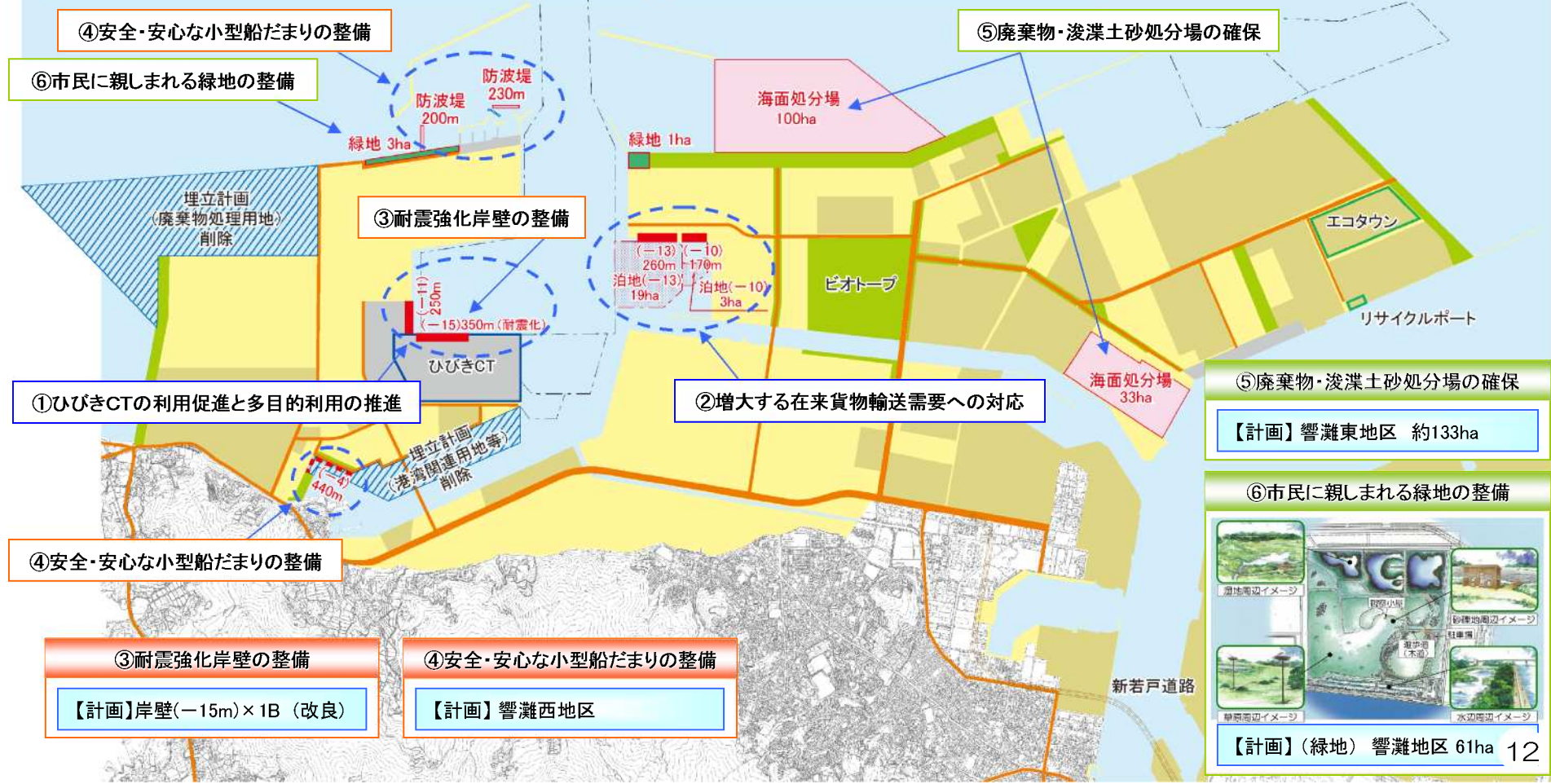
【計画】岸壁(-10m)×1B(既設)、岸壁(-11m)×1B 多目的利用

**②増大する在来貨物輸送需要への対応**



大型船の入港

【計画】岸壁(-13m)×1B、岸壁(-10m)×1B、泊地(-13m) 19ha、泊地(-10m) 2ha



/// : 計画削除

⑤廃棄物・浚渫土砂処分場の確保  
【計画】響灘東地区 約133ha

⑥市民に親まれる緑地の整備



【計画】(緑地) 響灘地区 61ha